

VMEで国際ブランド“Watec”をPR

ワテック株式会社

Vietnam Manufacturing Expo (VME) 2019への2度目の出展となるワテック株式会社。超小型カメラのパイオニアとして知られる技術特化型企業が、ベトナム市場でのブランドの浸透を狙う。



営業部長兼東京営業所所長
梶谷孝典氏

出展予定の「WAT-05U2M」

超小型の高機能カメラ ベトナムで知名度をアップ

エンジニアたちが集まって設立したワテックは、小型CCDカメラの開発と商品化の先駆者であり、超小型カメラ分野でのパイオニアとして知られる。高機能化と小型化を続けた同社のカメラは、世界約60ヶ国で官・民の様々な施設や場所で使用されている。

同社がVMEへの出展を決めたのは、ベトナムの首都ハノイという交通の便の良さと、日本でも知名度の高い国際的な展示会だから。昨年のVME 2018が初めての出展となった。

「昨年は日系企業様をはじめアジア諸国や、中近東の方もブースにお越しいただきました。おかげさまでベトナムからの問合せが段々と増えています」

ビジネスチャンスを感じ、引き続きベトナムでのPR活動に力を入れる。製品の良さを広く理解してもらうことが何よりも考えており、今年のVMEへの出展を決めた。

ワテックは組みみや特殊用途で使われるCCDやCMOSカメラの設計から製造、販売までを一貫して行う。業界内での知名度は高いが、B to B型で産業機器に組み込まれることが多いため、一般ユーザーが同社のカメラを目にする機会が少ない。「今年のVMEでも、まずは『Watec』を知っていただく良い機会になればと考えています」

3cm角のカメラを展示 賃金上昇も追い風に

今回展示する「WAT-05U2M」は、胸ポケットに差し込むタイプのウェアラブルカメラだ。H30xW30xD22mmのサイズながら1/2.8型フルHDで画角180度を実現。工場作業者の安全管理や技能習熟に役立つほか、作業のトレーサビリティにも利用できる。

同製品はスマートフォンやタブレットに接続してのライブ映像の伝送が可能だが、VME 2019ではWi-Fiを使った画像伝送を披露する予定。顧客

の国や業種は問わないが、中国からベトナムにシフトする日系製造業にも注目している。

「日系工場の多くが中国から東南アジアへシフトする中、ベトナムでも日本品質で作られた当社製品が容易に入手できる体制を整えています」

ハノイとホーチミン市の日系商社を窓口とした活動を進めており、製品選択の相談から技術的な問合せもサポートしていく。ベトナムでは製造業に限らず賃金の上昇は避けられないが、それも同社には追い風になると考えている。

「コスト削減に向けて社内で生産技術部門を持つ企業が増えていると聞いています。そうした取組みに弊社の製品が活用され、生産活動のお役に立てればと思います」

Vietnam Manufacturing Expo 2019

2019年8月14日(水)～16日(金)

ハノイのI. C. E Hanoi展示場にて開催